

令和7年度

飯尾敷地小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 規律ある学習活動を行い、学習習慣の定着を図る。
- 言語活動を充実させ、国語力の向上を目指す。

校長

重本 浩孝

学力向上推進員

栗田 美和

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1) 知識・技能の習得

児童生徒の状況 (○よさ・●課題)	具体的目標 (目指す子供の姿)	具体的方策 (教員の取組)	中間期の見直し	達成状況 (評価)	次年度における改善事項
<p>○年間を通して漢字や計算のミニテストを実施することで、読み書き計算の基礎的・基本的な力が身に付いてきている。</p> <p>●語彙力や書く力に課題がある。</p>	<p>・各学年で学習する漢字や計算を身に付けることができる。</p> <p>・語彙を増やし、学んだことや自分の考えを文章に書くことができる。</p>	<p>・ICT機器や復習プリントを活用し、既習内容を繰り返し復習する機会を設ける。</p> <p>・5W1Hを意識させ、視写や作文指導を行う。</p>			

(2) 思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況 (○よさ・●課題)	具体的目標 (目指す子供の姿)	具体的方策 (教員の取組)	中間期の見直し	達成状況 (評価)	次年度における改善事項
<p>○友達とともに学ぶことを楽しいと捉える児童が多い。</p> <p>●じっくりと課題に取り組み、身につけた知識や技能を活用することに課題がある。</p>	<p>・今まで学習したことや身につけた技能を活用することができる。</p> <p>・自分の思いや考えを表現したり、深めたりすることができる。</p>	<p>・児童が身につけた知識や技能を活用できるよう授業改善を行う。</p> <p>・ペア学習やグループ学習の機会を効果的に設定する。</p>			

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況 (○よさ・●課題)	具体的目標 (目指す子供の姿)	具体的方策 (教員の取組)	中間期の見直し	達成状況 (評価)	次年度における改善事項
<p>○決められた学習課題に真面目に取り組むことができる。</p> <p>●どんな課題にも粘り強く取り組んだり、主体的に学習に取り組んだりすることに課題がある。</p>	<p>・学習規律を守り、様々な学習課題に粘り強く最後まで取り組むことができる。</p> <p>・自分の学習状況を振り返り、取り組む内容を自分で決めて、自主的に学習することができる。</p>	<p>・良いモデルを示して課題に取り組みませ、適切な賞賛や評価を行うことで、望ましい態度の習慣化を図る。</p> <p>・自主学習ノートを互いに見せ合う機会を設け、意欲の向上や持続につなげる。</p>			